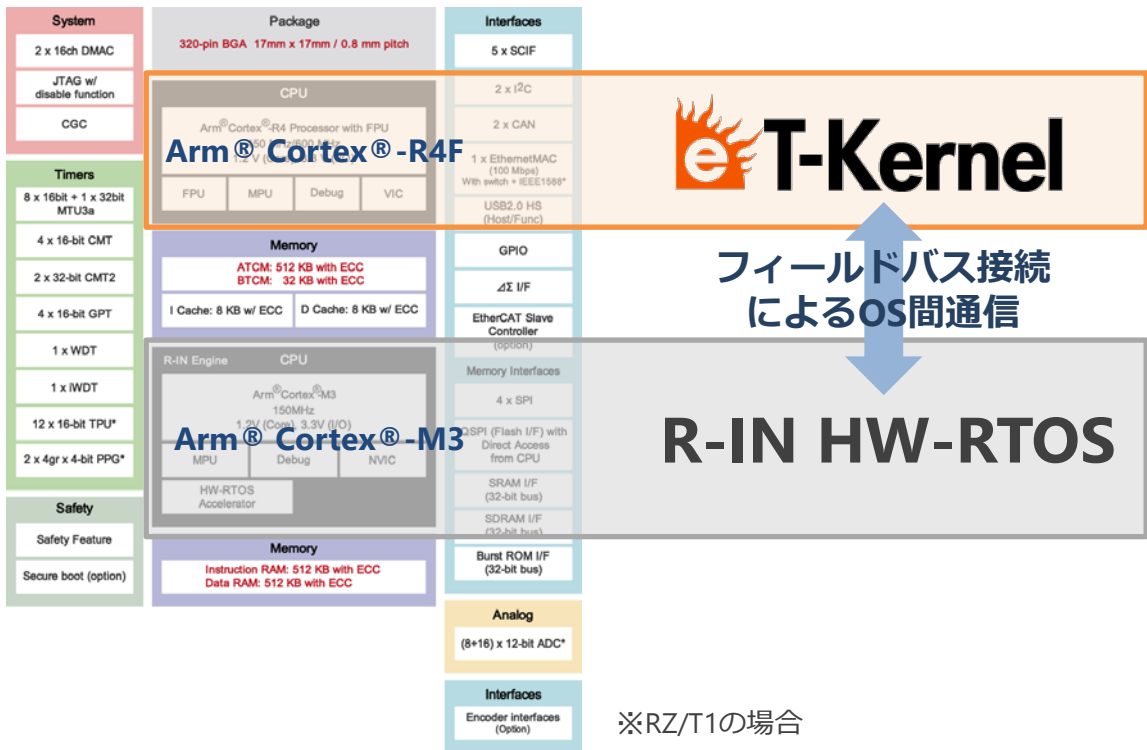


R-IN搭載HW-RTOSとArm Cortex-R4対応 RTOSのシームレスなOS間通信

RZファミリが持つコア間通信のハードウェア仕様を活かしたOS間通信をサポート

デモ概要



特長

eT-Kernel TRONベースリアルタイムOS

- μITRON/T-Kernelの既存ソフトウェア資産の再利用が容易
- μITRONに近い小規模な構成から、メモリ保護、プロセスモデル、POSIX仕様準拠を含む大規模な構成までをシームレスにサポート
- 高いリアルタイム性と高い信頼性
- Arm Cortex-R4Fに搭載されたメモリ保護ユニット（MPU）をサポートし、カーネル空間とユーザアプリケーション空間を分離できる保護機能を提供
- マルチコアプロセッサにも対応、AMP型/SMP型プログラムの双方をサポート
- ファイルシステム、USB、ネットワークをサポートするミドルウェアを提供
- 専用の統合開発環境「eBinder」 - コンフィギュレータ, ビルダ, デバッガ, 各種解析ツールも用意
- 機能安全規格 ISO 26262 ASIL D（自動車）/IEC 61508 SIL 4（産業機器）の第三者認証取得 [eT-Kernel Compact]
- イーソルのリアルタイムOS製品の開発プロセスは、医療機器向け安全規格IEC 62304認証を取得
- RZ/T、RZ/NシリーズをはじめとするRZファミリおよびR-Carなど、ルネサスの各種CPUに対応